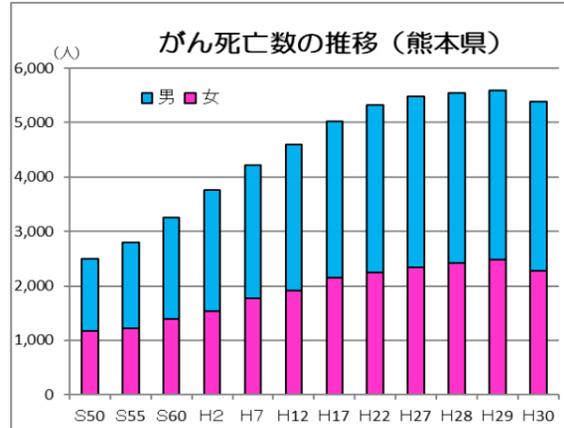


# 熊本県のがんの現状

## 死亡

出典：人口動態調査(厚生労働省)



平成30年主要死因別死亡数(人)

がん(悪性新生物)	5,393
心疾患	3,329
老衰	1,793
脳血管疾患	1,598
肺炎	1,470
不慮の事故	645
自殺	248
その他	6,904
合計	21,380
※がんの割合	25.2%

## がんの部位別死亡数(熊本県)

男性	S55	H2	H12	H22	H27	H28	H29	H30
気管・気管支・肺	309	435	634	754	773	748	777	753
大腸(結腸+直腸)	75	82	250	326	333	323	326	311
胃	416	436	380	332	341	326	310	304
肝臓(肝及び胆管)	215	385	427	382	325	363	324	297
膵臓	78	119	153	240	226	231	243	286
その他	480	779	842	1,040	1,147	1,133	1,127	1,164
計	1,573	2,236	2,686	3,074	3,145	3,124	3,107	3,115

女性	S55	H2	H12	H22	H27	H28	H29	H30
気管・気管支・肺	114	199	255	342	333	345	348	332
大腸(結腸+直腸)	43	77	240	295	328	319	356	315
膵臓	60	117	177	197	243	263	257	240
乳房	56	93	133	168	202	206	214	217
肝臓(肝及び胆管)	123	138	182	208	183	187	196	177
胃	281	246	229	208	187	189	178	171
子宮	117	75	94	98	91	92	92	83
その他	547	786	856	1,076	769	814	837	743
計	1,227	1,532	1,911	2,250	2,336	2,415	2,478	2,278

## 部位別75歳未満年齢調整死亡率(人口10万対)

◆2018年(平成30年)

部位	性別	全国	熊本県	順位
全部位	男女計	71.6	66.5	8
全部位	男	88.6	82.8	7
全部位	女	56.0	51.6	12
胃	男女計	7.7	5.2	2
胃	男	11.2	7.4	2
胃	女	4.4	3.1	3
気管、気管支及び肺	男女計	12.8	11.8	9
気管、気管支及び肺	男	20.0	18.9	16
気管、気管支及び肺	女	6.2	5.3	13
大腸	男女計	10.0	8.2	3
大腸	男	12.9	10.1	2
大腸	女	7.3	6.5	10

(人口10万対)

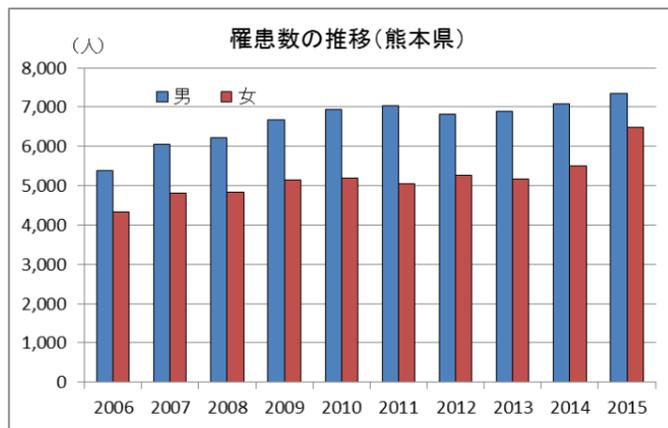
※順位は死亡率の低い方から降順

部位	性別	全国	熊本県	順位
乳房	女	10.7	10.9	30
子宮	女	4.9	4.5	18
前立腺	男	2.2	2.7	42
肝及び胆管	男女計	4.2	4.8	31
肝及び胆管	男	6.8	7.6	30
肝及び胆管	女	1.8	2.2	35
白血病	男女計	2.2	2.8	39
白血病	男	2.8	3.5	38
白血病	女	1.6	2.1	38

出典：国立がん研究センターがん情報センター「がん登録・統計」

## 罹患

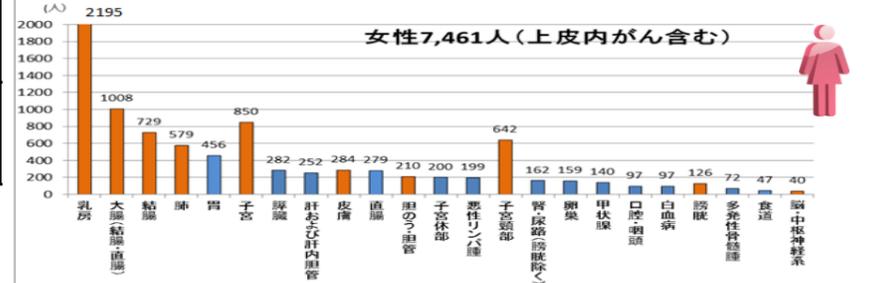
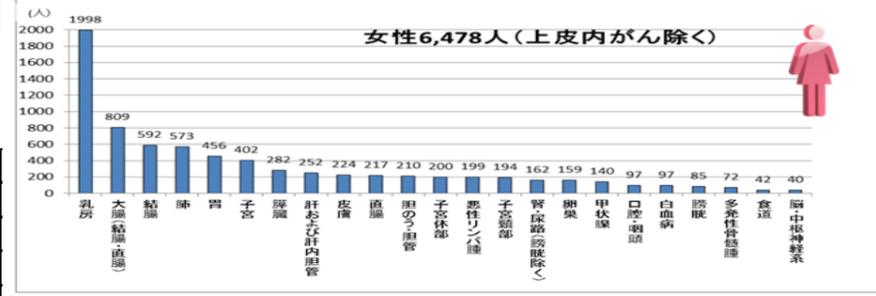
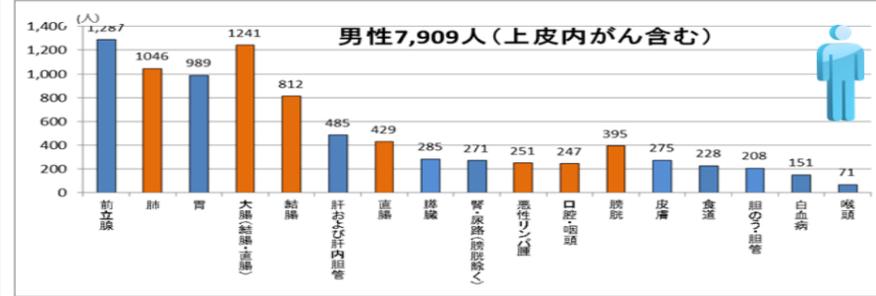
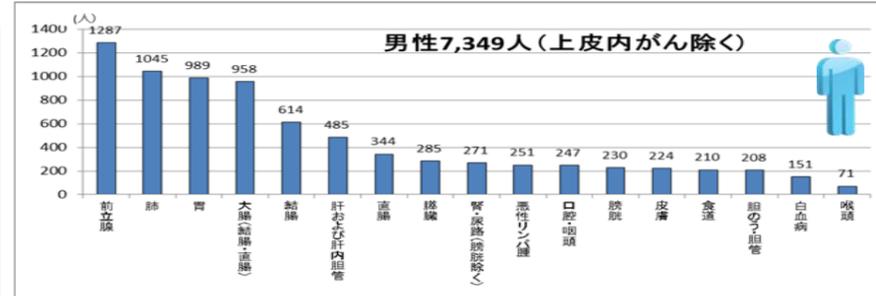
出典：熊本県のがん登録(熊本県健康づくり推進課)  
(熊本県総合保健センター地域がん登録室)



男女計(人)

2006	9,724
2007	10,846
2008	11,058
2009	11,803
2010	12,143
2011	12,094
2012	12,077
2013	12,054
2014	12,589
2015	13,827

## 部位別がん登録数(2015年 熊本県)

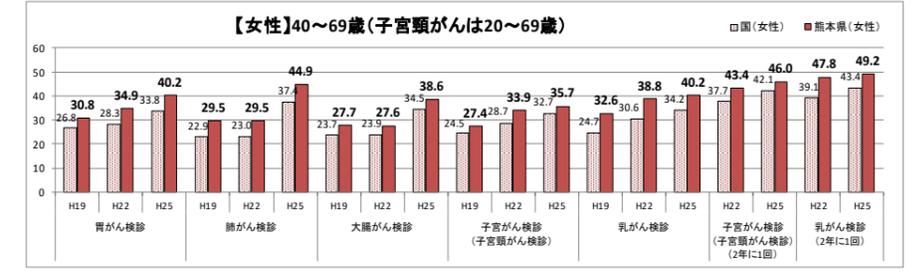
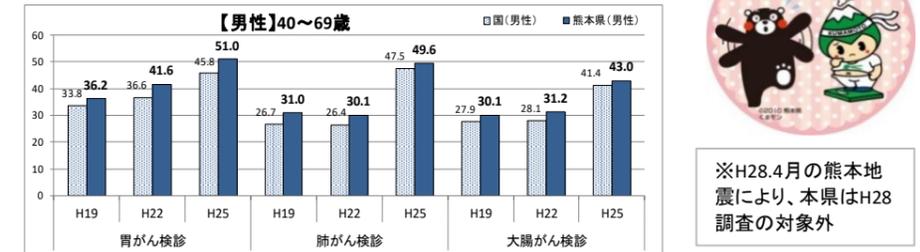


※女性の乳房の罹患数については、「全国がん登録方式」への変更に伴い、罹患者の病院間移動があった場合の同一人物の二重カウントを排除できないというシステム上の影響が大きく作用している。

## 検診

出典：国民生活基礎調査、地域保健・健康増進事業報告(厚生労働省)

## がん検診受診率の推移(国及び熊本県)



注1)入院者は含まない。  
注2)子宮がん検診はH25年調査から子宮頸がん検診として調査。  
注3)「がん対策推進基本計画」(平成24年6月閣議決定)において、がん検診受診率の算定対象年齢が40歳から69歳まで(子宮頸がんは20歳から69歳まで)になったことから、この対象年齢にて算出。

## 平成29年度(2017年度)がん検診受診率【市町村実施分】

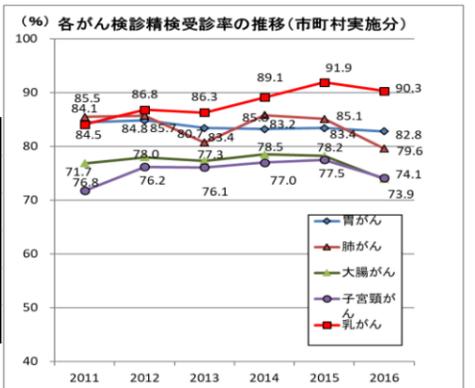
対象年齢	※分母は検診対象年齢の全住民数				
	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
50~69歳	9.3	10.0	9.9	16.7	18.3
40~69歳	8.4	7.4	8.4	16.3	17.4

注)「がん対策推進基本計画」(平成24年6月8日閣議決定)及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」(平成20年3月31日健康局長通知別添)に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳(「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳)までとした。

※胃がん、子宮頸がん、乳がんの受診者数=前年度の受診者数+当該年度の受診者数-2年連続受診者数

## 精検受診率の推移(市町村実施分)

	2011	2012	2013	2014	2015	2016
胃がん	84.5	84.8	83.4	83.2	83.4	82.8
肺がん	85.5	85.7	80.7	85.8	85.1	79.6
大腸がん	76.8	78.0	77.3	78.5	78.2	73.9
子宮頸がん	71.7	76.2	76.1	77.0	77.5	74.1
乳がん	84.1	86.8	86.3	89.1	91.9	90.3



## 平成28年度(2016年度)がん検診結果(市町村実施分)

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
受診者数	58,409	129,984	116,670	69,769	56,586
がんだった者	75	61	184	19	130
( )内は70歳未満	(42)	(20)	(92)	(18)	(94)

※胃がん、子宮頸がん及び乳がんは当該年度のみ受診者数